

## 白岡市生活排水処理基本計画（案）に係るパブリックコメントの結果について

番号	意見	意見に対する考え方
1	<p>1.水環境について(水質測定に合わせて流量測定も同時に実施することを要望する)                      河川における水環境問題を議論するうえでは、流量の測定は必須であり、今後は調査項目として採用してほしい。                      理由:河川の水質は流量に大きく左右され、流量が少ないと水質は高くなり、流量が多いと水質は低くなります。水環境の報告では、「公共下水道や合併浄化槽の整備が進み、水質が改善したことによる効果が出ているものと推察されます。」と評価していますが、水質調査結果は結果論であり、対策効果は負荷量で見ること必要です。</p> <p>2.目標値達成状況について(PDCAサイクルの考え方は活かされていますか)                      P.22表3-12をみると、前計画(計画年度:令和7年度)では、下水道区域内での非接続人口、単独浄化槽人口、汲み取り人口及び不明の人口は0人となっていますが、令和6年度(計画基準年)では約9,500人となっています。                      前計画ではどのような対策・計画(P)を策定し、実施・行動(D)することで「0」としたのか、その対策が何故実施できなかった原因のチェック(C)がなく、新たな計画(P.26 A)を策定しています。PDCAサイクルの考え方が活かされていないように思います。目標として、p.28表5-1では令和18年度から令和23年度には「0」と表記されています。PDCAサイクルの見直しがないままになっていないでしょうか。</p> <p>3.具体的な対策案についての提案                      ①下水道整備区域内の未接続人口への対策                      公費で接続し、実費の支払いを月々行う                      ②未整備区域内の合併浄化槽の設置                      例えば、5人槽の合併浄化槽を公費で設置し、補助金以外の支払いを月々に行う                      ③合併浄化槽の管理費の補助金の設立                      浄化槽については、定期的な管理は義務付けられているが、管理が行き届かず、汚泥の搬出も定期的実施することで、処理機能が維持され、安定した処理水質が維持され、公共用水域も改善・維持されるものである。</p>	<p>次期計画策定の際は、水質測定結果だけでなく流量測定結果を考慮しつつ、水環境の変化について検討を行ってまいります。</p> <p>PDCAサイクルを考慮し、前計画の進捗状況の評価等を含め、加筆いたします。</p> <p>公費にて未接続世帯の公共下水道接続や合併浄化槽の設置した後、使用者から費用負担していただく方法については、汚水処理人口普及率向上の有効な手段の一つではありますが、宅地内工事のため使用者本人に了解が必要なことや使用者の経済的な負担は変わらないことから課題もあり、現状では難しいと考えておりますので、御理解願います。                      また、合併処理浄化槽の管理費の補助金については、財政面を考慮すると市単独での実施は難しいと考えており、今後国や県の動向を注視しつつ、活用できる制度を見極めながら、適正な維持管理の推進を図ってまいりますので、重ねて御理解願います。</p>